

村長・副村長



村長 榎屋 伸夫



副村長 太田 敏光

村議会議員・副議長



議長 大上 浩史



副議長 金子 泰男

村の花鳥木



村の花 はまゆり

(正式名=スカシユリ。ユリ科)

夏、海岸の断崖や岩場に、橙赤色の花をかれんに情熱的に咲かせます。潮風に耐え、根強く生きるこの花は、たくましく生きる普代村民の姿でもあります。



村の鳥 うみう

(ウ科)

昔から漁業に従事する人たちから、“海の天気予言者”として親しまれています。岩礁地に上がって海を眺めながら、雄々しく翼を広げる姿は、普代村の躍進の象徴でもあります。



村の木 えんじゅ

(マメ科)

村内の山林に分布し、国道45号沿いにも植樹されています。高さは20mにも達する落葉高木で、緑と安らぎをつくり、高くそびえようとする姿は、私たちの勤勉性にも似ています。

普代村村民憲章

私たちは、郷土の雄大な自然と伝統ある文化を愛し、平和で豊かな普代村をきずくため、村民としての自覚をもち、その達成に願いをこめて、この憲章を定めます。

- 1 きまりある生活をし、住みよい村をつくります。
- 1 教養をふかめ、より高い文化をつくります。
- 1 健康と安全をまもり、明るい社会をつくります。
- 1 常に感謝の心をもち、温かい家庭をつくります。
- 1 仕事にはげみ、協力して伸びゆく郷土をつくります。

※普代村の花鳥木、村民憲章は、地方自治法施行30周年を記念し、昭和52年11月12日に制定しました。

村章

周囲の円は、平和と発展の意味で灯台の光をかたどり、中央は団結の意味で漁村の波を表すとともに「ふだい」の「ふ」を図案化したものです。

昭和39年に公募し制定しました。

